～授業者の思い～

　絵本でも馴染みのある、斉藤隆介さんの作品です。子供たちには、色鮮やかな美しい絵と共に、心の美しさとはどんなことだろうと想像を広げてほしいと願っています。自分だけでなく、周りにも心を配れるあやの姿を通して、自分の心が動いた場面を発表し、交流し合うことで、感動を共有させたいと考えます。

**４年　１組**

１　主題名　人の心の美しさ　（感動・畏敬の念）

２　資料名　「花さき山」

３　ねらい　優しいことを一つすると一つの花が咲くという花さき山を巡る物語を

通して、美しい心について考えさせ、美しさを感じ取る心を大切にしよ

うとする心情を育てる。

４　授業の流れ

1. 教材名から想像を広げる。
2. 「花さき山」を読んで、話し合う。

・登場人物「あや」の気持ちについ

て考える。

1. 心を動かされたところについて発表

する。

1. 学習感想を書く。

～授業者の思い～

～授業者の思い～

気持ちを伝え合うことや、相手を許す言葉をかけることは勇気が必要で、そのままにしてしまったという経験は多くの児童にあると思います。登場人物の行動には、何が足りなかったのかを考え、お互いに分かり合うためには、相手の気持ちを尋ねることや、自分から謝ることも大切だということに気付いてほしいと願っています。

**４年　２組**

１　主題名　分かり合うために　（相互理解・寛容）

２　資料名　「つまらなかった」

３　ねらい　 　何気ない言葉を巡ってすれ違う信二とさとしの姿を通して、互いに分かり合うために大切なことについて考えさせ、相手の思いを理解するとともに、相手からの理解を得られるように伝えようとする実践意欲や態度を育てる。

４　授業の流れ

　①相手の気持ちが分からなくて困った経験

について振り返る。

②「つまらなかった」を読んで、登場人物

「信二」や「さとし」の気持ちについて話

し合う。

③お互いが分かり合うために大切なことを

考える。

④学習感想を書く。